

広島県鉄構工業会（理事長＝山本泰徳・スアーントス社長）は2月中旬、ウェブサイトをリニューアルした。動画や写真を多用したデザインに刷新し、スマートフォンなどの携帯端末での表示にも対応している。鉄骨製作に関するマニュアルも掲載した。鉄骨加工業の認知度とイメージ向上を図り、女性や若手の人材確保につなげていきたい考えだ。

ウェブサイトは、山本理事長がイメージする「面白おかしく印象的」のアイデアを元に、青年部が中心となり制作。1年をかけて完成させた。印象的なデザインにすることで多くの人に興味を

広島県鉄構工業会

ウェブサイトをリニューアル

持ってもらおう工夫をし、PR用のポスターも制作した。

トップページを開くと、女性が複数のゾンビと戦う映像が流れる。3K（きつい、汚い、危険）や、男性中心というイメージを払しょくし、業界を変えていきたいという思いを込めた。映像は広島県福山市の成伸工業で撮影し、社員とその家族



PR用ポスターも制作

が出演した。ウェブサイトに、新たに作成した「建築鉄骨の基本」を掲載。鉄骨の用途や製作工程、最新技術を紹介している。業界関係者以外でも分かりやすく、新人教育にも活用できる内容にした。

今後は理事会の様子を撮影した映像など、動画を中心にコンテンツを拡充していく方針だ。

ウェブサイトのURLは<https://hsfa.jp/>